

平成27年度第3回（通算 第3回）

## 隠岐の島町総合教育会議 会議録

1. 開催日時 平成27年11月26日（木）9時30分～11時48分
2. 開催場所 隠岐の島町教育委員会 2階会議室
3. 出席者 町長 松田 和久

### 【隠岐の島町教育委員会】

教育委員長 武田 浩志  
教育委員 秋庭ゆみ子  
教育委員 野津 幸恵  
教育委員 大津 義文  
教育長 山本 和博

### 【事務局】

八幡総務学校教育課長、中林生涯学習課長、高宮中央公民館長  
砂本総務学校教育課長補佐

4. 議題 (1) 「教育大綱（案）」の検討について  
(2) 「教育大綱」策定のスケジュールの検討について  
(3) 平成28年度教育費予算の検討について  
(4) その他
5. 傍聴人数 6名
6. 会議の経過 別紙のとおり
7. 会議録作成者 総務学校教育課 課長補佐 砂本 進
8. 会議録署名者 署名日 平成28年11月22日

町長

松田和久

教育委員

秋庭ゆみ子

## 別紙（議題の経過）

### ○開 会（八幡総務学校教育課長）

### ○町長挨拶

松田町長：私が年を取ってきたせいか、1年が早く過ぎるように思えてなりません。あと1ヶ月あまりで今年も終わると思うと何かと気ぜわしくなってきました。本日、第3回目の総合教育会議を開催したところ、皆さんご出席頂き、有難うございます。最近の新聞を見ても、これだけ社会的に問題となっているいじめが、それを原因とする自殺が報道されています。こういったいじめの問題でありますとか、大きく社会情勢が変わってきたということが、今回の教育委員会制度改正の原点ではなかったかと思っています。この総合教育会議も町長が招集し、教育大綱をつくらないといけないですし、併せて教育委員長、教育長の一本化の話もこう言った事からのことだと認識しております。今日はその隠岐の島町の大綱案の方向性が出されたということで、事務局から説明させます。皆さん方とあるべき方向性を出して行きたいと思しますので、よろしくお願いします。

### ○会議録署名者の選出

松田町長：はじめに会議録署名者を秋庭委員にお願いいたします。

◎全員了承した。

### ○議題（1）教育大綱（案）の検討について

（説明）

八幡課長：資料を基に説明

（質疑・意見交換）

松田町長：只今、事務局から大綱案の説明がありました。この資料は、事前に委員さんの手元に届けられたと聞いていますが、ご意見がございましたらよろしくお願いします。

4ページにジオパーク学習のことが掲載されていますが、実は隠岐ジオパークはユネスコの正式プログラムの決定を受けていませんでした。継続した運動を展開するためには、世界遺産を認定するユネスコの正式事業化の決定が必要と言うことで、今月の初めやっとフランスの会議で決定されたところでは。

山本教育長：はじめにの下から6行目、他人への思いやりや善悪の判断等の倫理観を身に付けさせる。ではなくて、必要があります。等を後ろに付けないと前後と合わないと思います。

- 野津委員：その上のところも学校・家庭・地域とそれぞれ記述がありますが、文末がそれぞれ違い、違和感があります。例えば、子どもを育成し、等で続けられればいいのかと思います。
- 大津委員：まず、全体を見ますと町の総合振興計画と教育委員会の教育の方針と事業から旨くポイントをつかんでまとまっていると思いました。例えば大綱の実施期間、先ほどの説明を聞いて分かりましたが、総合振興計画と同じにすることはとても大事な事だと思います。ただ、表現が年であったり、年度であったりとまちまちですので、統一する必要があると思います。
- 松田町長：総合振興計画と表現を合わせ、年度とさせて下さい。その総合振興計画ですが、中に「隠岐びと」という表現が沢山出てきます。これはどういふことかということ、第二次の振興計画を作るときには私は企画課におりまして、第一次は昭和50年にコンサルタント主導で横文字の多い厚い計画は作ってあったんですが、誰も見てはいなかった。その時私はおかしいと思い、第二次は「夢先案内」という計画を役場の職員に作らせました。地域を知っているのは、役場の職員ということでやりました。その後、新町になっての計画も役場の職員に作らせています。その中に「隠岐びと」は沢山出ていますが、これは、今後島を担っていく人材をいかに育てていくべきかということでのキーワードとなっています。この大綱もそことリンクしていると思います。
- 武田委員長：はじめにの中段あたりですが、核家族やひとり親の増加がいかに社会的マナーの備わっていない子どもたちを生み出しているように取られかねない表現なので、そういったものも含めて、社会情勢の変化としたらいかがでしょうか。
- 秋庭委員：私も社会情勢の変化を前に出した方が良いと思います。現実には、核家族化やひとり親の増加と言うのは地域に大きな変化をもたらしていることは事実ですので、その辺のことを言いたかったのかなとは思いますが、表現は修正した方がよいと思います。
- 八幡課長：ひとり親家庭の増加という表現は削除し、それも含めた社会情勢の変化という表現で修正したいと思います。
- 山本教育長：大綱の期間が4年となっていますが、この間に教育長が変わる場合がありますが、教育長の意向が反映されないことがあるのではないのでしょうか。
- 八幡課長：町長もこの期間に変わる場合も同じようにあります。国が示す大綱の期間は4～5年としていますので、今回は総振に合せ4年とし、そういった場合も含め、見直しを明記しています。
- 松田町長：総合振興計画は、議会で議決をするので町長でも変更することは出来ません。総振の向かってる先が例えば大満寺山とすると、向かう先は変えられませんが、進むべき道は、原田なのか、東郷なのか、中村、布施からも行ける、しかし原田が一番だと手法を決めるのが町長だと思っています。

- 大津委員：そうであれば、この大綱も総振に則って作ってありますので、変更の必要はないのではないのでしょうか。
- 松田町長：基本的には、平成32年度からの10年間を期間とする総振の見直しがありますので、それに合わせて大綱も見直すことだと思います。
- 山本教育長：新教育長の任期は3年ですし、教育委員は4年です。一度も大綱の策定に関わることが出来ない委員もでてきますが、今後の社会情勢の変化を踏まえて見直しを行えば良いと思います。
- 秋庭委員：基本方針の話をさせていただきますけど、よろしいでしょうか。②に記載してある豊かな心と道德教育の充実は合わないように思うのですが。
- 八幡課長：総振と教育の事業と方針からの抜粋を中心に文章化したため、このようなこととなりました。
- 秋庭委員：私個人的には、豊かな心を育む教育を推進するのに、道德教育の充実を図るとするのは、納得できないものがあります。
- 大津委員：言われることは分かるんですが、今文科省は道德教育を重視する方向を向いていると思いますが、その辺のからみがあると思うんですが。どこにに入れるかと言うと、この中ではこの項目しかないように思います。
- 秋庭委員：国の方針として今道德教育に重きを置いているようですが、それがどちらかと言うと愛国心に繋がりがねない様相を呈していると思っていますので、今隠岐びとを育てようと思っている中ではもっと全てを包括的に受け入れて自分の中を育てていくような人間形成を目指していく、そしてそれが出来れば地元隠岐を愛することが出来ていくのではないかと考えていますので、そのように思ったところです。
- 野津委員：規範意識や倫理観を身に付けるということは今の子どもたちにとってとても大事な事だと思います。それを道德教育の充実で身に付けさせるのかどうかということだと思います。
- 大津委員：道德教育と言うと今の時代、集団的自衛権の問題があるので愛国心に繋がるように思いますが、安部政権の前から子ども達の道德教育の必要性は言われていました。確かに今の時代は難しいですね。ただ、道德教育が悪いとは思いません。
- 山本教育長：道德と言う授業が愛国心だけを養う教育ではないと思っています。今回、道德を教科にするという動きがありますので、それはまた問題はあると思いますが。私はここを、隠岐の豊かな自然を活用した集団活動によって、集団の倫理観や友達との人間関係をうまく作ることにすればスナリいくように思います。
- 大津委員：確かに自然体験から出たものは結びつくと思います。
- 山本教育長：そうすると食育や健やかな体づくりにも繋がるんですよ。
- 松田町長：それでは、豊かな自然や人情によるみたいな表現を検討して下さい。
- 秋庭委員：例えば、豊かな自然の中で生まれる体験や集団生活を通して、規範意識や倫理観の醸成に努める、というようにしたらどうでしょうか。

また、別の話ですが、隠岐の素晴らしさは、ひとり親になって帰って来られる方の子どもたちを地域が育てるところにあります。そういうことが残っているところに素晴らしさがあります。

松田町長：2日前の総合戦略の会議の中で青年団の話が出て、また青年団が活動を行おうとした場合の行政の担当は、教育委員会でいいのかな。と言うのはどこからの話かと言うと、婚活の関係は昔は青年団がその活動の中心となって動いていました。現在は公民館が中心となり活動していますが、行政の活動では限界があります。そこで、また青年団みたいな組織が必要ではないかと言う話になりました。ここで言う人材や団体の育成を推進、その中には青年団は入りますか。

中林課長：青年団、婦人会、老人会などは、いわゆる社会教育団体ですが、昔のような青年団活動は現在はないと思っています。何か目的を持って集まり活動する団体が増えています。時代とともにそのスタイルは変わってきています。昔の団体を復活することは難しいと思いますが、現在活動している団体を支援出来ればと思っています。

大津委員：県立高校との連携の事が記述してありますが、非常に大事な事だと思っています。高等学校は本来は県教委がきちんとサポートすべきですが、実際はそうなくて、高校再編基本計画の中でも地域がもっと関わらしましょうみたいなことを言っています。現実問題として、今後隠岐校と水産校との統合の話が出てくと思います。県の計画は、平成11年から20年までが第1期、21年から30年までが第2期となっています。31年からの計画は、28年度から県立高校再編成検討委員会を立ち上げ、検討することとしています。隠岐からも委員が選ばれると聞いています。今の生徒数で県が考える規模での2校の存続は非常に厳しいものがありますが、学校は勿論、行政もそういう話し合いの場を作らねばいけないと思います。

松田町長：隠岐校での魅力化事業を行う時に教育長にもお願いはしてありますが、もう一度、総合振興計画を見て下さいと。隠岐びとの養成が随所に出てきますが、中学生までと言うのではなく、最低でもこちらに学校のある高校生までは隠岐びととして育てていくことだと思っていますし、県立高校だからといって、町が知らん顔ではだめだと思っています。今水産高校の後援会会長を私がしていますが、これは平成12・13年の学校再編の時に、島から実業高校を無くすと大変な事になると、若者の定住にも大きな影響があるということで、当時私は法人会におりましたが、企業とともに水産の存続検討委員会を立ち上げました。それが基で水産高校の寮が拡充されて、生徒数増に繋がったところです。今後は、隠岐校も水産高校もいかにして県外の生徒に来てもらうかではないでしょうか。そのために県教委のあるべき方向性を町がどうこうは出来ませんが、例えば県外の生徒が隠岐に来る旅費の一部を補助するとか、寮の食事を支援するとか、方法はいくらでもあります。そういったことをしながら、何とか適正な生徒数が確保できるように

し、統合については毅然とした態度で単独校としていくべきだと思っています。そういったことを考えておりますので、そういった意味で県立高校との連携推進がここに挙がってきていると思います。

大津委員：現在、町立小中学校規模適正化検討委員会が開催されていますが、教育の効果だけでなく、地域の活性化も合わせて検討されていると聞いています。私はもし高校が統合するようなことになれば、地域振興に大きな影響を与えると思っています。この大綱に県立高校のことが記述されることは、非常に必要であるし、ありがたいことだと思っています。

松田町長：更に何かありましたら、事務局の方にお願ひします。

○議題（２）「教育大綱作成のスケジュール（案）」について

（説明）

八幡課長：スケジュール（案）について説明

松田町長：それでは、この案のとおりよろしくお願ひします。

○議題（３）「平成２８年度教育費予算の検討」について

（説明）

八幡課長：平成２８年度の柱となる事業について説明

（質疑・意見交換）

山本教育長：障害のある児童生徒が増えている現状があります。隠岐の島町は必要な子どもたちに支援員を付けていますが、本土の学校では、子どもに関係なく、学校に１人配置しているところもあります。町や学校の色々な組織で対応していますが、相談件数の増加とともに対応できにくい状況となっています。そこでこの特別支援コーディネーターを配置し、お母さん方が早くから相談できる体制が取れないものかと考えています。

松田町長：本土の方では学校図書の実充が、子どもたちを図書館に向かわせている。それが試験の結果にも出てきていると聞いている。やっぱり子ども達は何回も図書館に通うようでないといけないと思うが、状況はどうですか。

秋庭委員：学校図書館にきちんと司書が就くと利用は増えますが、問題はそれだけではなくて、どれだけうまく活用するかということになります。それは学校の司書教諭がうまく動くこと、そして連携が必要となります。ただ、司書教諭として活動する時間を設けることは担任を持っていると非常に大変でここでよく加配と言う話にもなります。

松田町長：今司書は、何人ですか。

八幡課長：４つの中学校と西郷小学校、それに小学校６校を巡回する司書が教育委員会に１人と合計６人です。

秋庭委員：ただ、巡回司書が２週間に１回しか来ないという現状がありますが、

でも助かっているみたいで、連携して授業に役立っているようです。できればもう一人巡回司書を入れてもらおうと1週間に1回となって非常に良いんですが。そうすると司書同士も連携してレベルアップしますしと思います。

松田町長：地方交付税も合併後10年を経過し、段階的に減額となる時期に差し掛かりました。財政的には厳しいんですけど配慮できる部分があればと思います。

本日はこれで終わりたいと思います。

○閉会（八幡総務学校教育課長）

